

ヒット曲の歌詞分析

2019.6.8

田母神道場門下生

スカピッピパパ (bscppmm@yahoo.co.jp)

今回紹介の推薦曲

最近、ボブ・ディランがノーベル文学賞を受賞する時代ですから、ヒット曲も、読書部の推薦図書にあげても良いのかな？

と、思います。

と、言うことで、今回はヒット曲2曲の歌詞分析をしたいと思います。

- ・一曲目

森山直太郎さん の さくら(独唱)

- ・二曲目

RADWINPS の HINOMARU

森山直太郎さん さくら(独唱)

まず、聞いてみましょう。

https://youtu.be/p_2F2IKV9uA

では、歌詞を見てみましょう

僕らは きっと待ってる
君とまた会える日々を
さくら並木の道の上で
手を振り叫ぶよ
どんなに苦しいときも
君は笑っているから
挫けそうになりかけても
頑張れる気がしたよ
霞みゆく景色の中に
あの日の歌が聴こえる
さくら さくら 今、咲き誇る
刹那に散りゆく運命と知って
さらば友よ 旅立ちの刻
変わらない その想いを今

今なら言えるだろうか
偽りのない言葉
輝ける君の未来を願う
本当の言葉
移りゆく街はまるで
僕らを急かすように
さくら さくら ただ舞い落ちる
いつか生まれ変わる瞬間を信じ
泣く友よ 今惜別のとき
飾らないあの笑顔で さあ

さくら さくら いざ舞い上がれ
永遠にさんざめく光を浴びて
さらば友よ またこの場所で会おう
さくら舞い散る道の
さくら舞い散る道の上で

質問

- ・ 質問

この歌は、誰がどこで歌っているのでしょうか？分かりますか？

回答は最後

歌詞分析

さらば友よ またこの場所で会おう => さらば友よ 靖国で会おう

どんなに苦しいときも

=> 戦況が苦しいから、打開のためにはこの作戦しかない

変わらない その想いを今 => 愛国心を、今行動に移す

街はまるで僕らを急かすように => 国民の期待に、背中を押される

あの日の歌が聴こえる => 同期の桜が聞こえる

その他、刹那に散りゆく定めと知りつつ、旅立つです

もう一度、歌詞を見てみましょう

僕らは きっと待ってる
君とまた会える日々を
さくら並木の道の上で
手を振り叫ぶよ
どんなに苦しいときも
君は笑っているから
挫けそうになりかけても
頑張れる気がしたよ
霞みゆく景色の中に
あの日の歌が聴こえる
さくら さくら 今、咲き誇る
刹那に散りゆく運命と知って
さらば友よ 旅立ちの刻
変わらない その想いを今

今なら言えるだろうか
偽りのない言葉
輝ける君の未来を願う
本当の言葉
移りゆく街はまるで
僕らを急かすように
さくら さくら ただ舞い落ちる
いつか生まれ変わる瞬間を信じ
泣く友よ 今惜別のとき
飾らないあの笑顔で さあ

さくら さくら いざ舞い上がれ
永遠にさんざめく光を浴びて
さらば友よ またこの場所で会おう
さくら舞い散る道の
さくら舞い散る道の上で

どうですか？そう読めてきませんか？

いちばんの問題箇所

ネットを検索すると、

ここまでの解説を推測して、「そうではないか！」という意見は、多い。

ところが、

「今なら言えるだろうか偽りのない言葉 輝ける君の未来を願う本当の言葉」

死にゆく戦友の未来を信じて、かける言葉として???

ネットで検索した範囲では、ここを読み切った人は、いないみたいだった。

この「君」、これは「友」を指しているわけではない。

また、「本当の言葉」は抽象的な何かを示しているわけではない。

では、何か？

「君が代」の「君」である

つまり日本のことであり、

「日本の将来のためにこの身を捧げる。」

という意味である。

すると日本の明るい将来を願う「本当の言葉」は？

「天皇陛下万歳！」

である。

「今なら言えるだろうか偽りのない言葉 輝ける君の未来を願う本当の言葉」

=

日本の将来を願い、天皇陛下万歳を唱える！

では、もう一度歌詞を読んでみましょう！

この時、君を日本と読み替えて解釈してみてください。

再び、歌詞を見てみましょう

僕らは きっと待ってる
故郷とまた会える日々を
さくら並木の道の上で
手を振り叫ぶよ
どんなに苦しいときも
故郷の人々は笑っているから
挫けそうになりかけても
頑張れる気がしたよ
霞みゆく景色の中に
同期の桜が聴こえる
さくら さくら 今、咲き誇る
刹那に散りゆく運命と知って
さらば友よ 旅立ちの刻
変わらない
その想い（愛国心）を
今（行動に移す）

今なら言えるだろうか
偽りのない言葉
輝ける日本の未来を願う
本当の言葉（天皇陛下万歳！）
移りゆく街はまるで
僕らを急かすように
さくら さくら ただ舞い落ちる
いつか生まれ変わる瞬間を信じ
泣くない友よ 今惜別のとき
飾らないあの笑顔で さあ

さくら さくら いざ舞い上がれ
永遠にさんざめく光を浴びて
さらば友よまたこの場所（靖国）で会おう
さくら舞い散る道の上で

これは、私の解釈です。

でも、これだけぴたりとはまるのが、偶然とは考えにくいと思います。

一度読めてしまうと、そうとしか読めなくありませんか？

皆さんはどう思われますか？

RADWINPS の HINOMARU

こちらは、まずは、歌詞を見てみましょう。

では、歌詞を見てください

風になびくあの旗に
古（いにしえ）よりはためく旗に
意味もなく懐かしくなり
こみ上げるこの気持ちはなに
胸に手をあて見上げれば
高鳴る血潮、誇り高く
この身体に流れ行くは
気高きこの御国の御霊
さあいざゆかん
日出ずる国の御名の下に
どれだけ強き風吹けど
遙か高き波がくれど
僕らの燃ゆる御霊は
挫けなどしない
胸に優しき母の声
背中に強き父の教え
受け継がれし歴史を手に
恐れるものがあるだろうか

ひとときとて忘れやしない
帰るべきあなたのことを
たとえこの身が滅ぶとて
幾々千代に さあ咲き誇れ
さあいざゆかん
守るべきものが 今はある
どれだけ強き風吹けど
遙か高き波がくれど
僕らの沸（たぎ）る決意は
揺らぎなどしない
遙か高き波がくれど
僕らの燃ゆる御霊は
挫（くじ）けなどしない
僕らの沸（たぎ）る決意は
揺らぎなどしない

では、聞いてみましょう。

<https://www.youtube.com/watch?v=-PTnOoePasc>

歌詞分析

確かに一見過激なんですけど、当人の釈明は、
災害に負けない日本人への応援歌だそうです。

どれだけ強き風吹けど => 台風

遙か高き波がくれど => 大津波

そうも取れそうです。

そもそも、日本人の精神性と、それを鼓舞する唄であり、人生における戦う姿勢の大事さを歌っているだけで、戦争の唄ではない。

それに、そもそもこの精神性は、褒められこそすれ、
非難すべきこととは思われない。



でも、左派系言論人が嫌がる「個を捨てて全体に奉仕する」精神性を、古めかしい言葉を使って、表現しちゃってる=>軍歌っぽくもある？

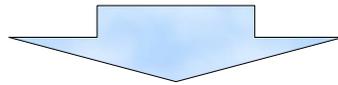
個人的な分析

僕の個人的な分析としては

日本人としての、自然な倫理観を、伝統的言葉で表現しようとした。

現在日本の言論界をわかっておず、

素直な表現が物議をかもしてしまった。



むしろ、「さくら（独唱）」と比べると、直球表現の素直な作品。
一方、「さくら（独唱）」は明確に「神風特攻隊」を賛美した名曲。



にも関わらず、「さくら（独唱）」、一部に噂はあるものの、
今まで、全く物議をかもしていない。

文章力について

文章力には、確かにわかりやすく書く文章力もある。

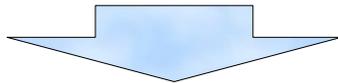
しかしながら、文章には、分かる人には分かるけれども、分からない人には分からない、文章というものが厳然としてあるのである。

つまり、分かりにくい文章を書く文章力もあるのである。



芸術（文学）には、

「分かりにくさを楽しむ」という、ありようが厳然としてある。



今回、

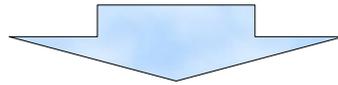
- ・分かりにくいのがゆえに、全くほったらかされている文章。
 - ・分かりやすいのがゆえに、変な誤解を受けて非難されている文章。
- の、例として、この2曲をあげてみました。

ご注意事項

今回の文章は、私個人の行なった勝手な解釈です。

作者自身が行なっている説明ではありません。

文学作品、特に詩歌に関しては、多様な解釈ができることが作品の価値を高めるといふ側面もあります。



これが唯一絶対の解釈であると言っているわけではありません。

多様な解釈の中の一つとして、参考にしてみてください。

質問

- 質問

この歌は、誰がどこで歌っているのでしょうか？分かりますか？

- 回答

神風特攻隊の隊員達が、靖国神社の境内で歌っている。